

GINOWAN 2023 地域づくり塾 第6期

-GINOWAN TIKI ZUKURI JYUKU 2023-

第5回講座 スキルアップ講座 ～企画づくり～

日 時：2023年10月22日（日）10:00～15:00

場 所：普天間第二小学校

講 師：平良 斗星 氏（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事）

参加者：11名／16名（地域コーディネーター、自治会、福祉・医療関係等）

スキルアップ講座 ～企画づくり～

第5回講座は、公益財団法人みらいファンド沖縄副代表理事の平良斗星氏を講師にお招きし、企画づくりのスキルアップ講座を開催しました。「問題解決のための企画までのプロセス～それは本当に課題なのか～」と題して、レクチャーだけでなくワークにチャレンジしながら、チームで学びをすすめました。前回までの講座の中で話し合ってきたことをふりかえりながら、誰のどんな困りごとを解決したいのか、具体的にするというポイントをおさえ、個人の困りごとから、社会で受け止めるということ、その課題に対して影響を受ける人（困る人）や資源（味方となる人や場所）について書き出しました。



Aチーム：障がいをもつ方への支援

- ・ 目に見えない病を抱えた人をどうやってみつけたらよいか？
- ・ （そもそも...）社会との関りを絶ち、きっと困っているだろうとこちらはとらえてしまうが、実は本人は困っていないのではないかと？

*影響を受ける人*学校の先生/バスの運転手/家族/勤め先の上司、同僚/地域住民
*資源*生活保護課/障害福祉課/支え合い活動委員(民生委員)/包括支援センター



Bチーム：子どもと地域をどうつなぐか？

- ・ 子どもと地域が関われないことで、学校の先生が教えることが多くなり、負担が大きいのではないか？時間外の指導があれば労働の問題も出てくる。学校が困っていることを調べたい。

*影響を受ける人*学校の先生

*資源*先生/学童/児童館/メディア/自治会長/PTA会長/地域コーディネーター



Cチーム：地域の人と人のつながり

- ・ 自治会の加入が減っていて、地域の行事がなくなってしまう。
- ・ 地域とつながれないことで誰かの困りごとも見つけられなくなってしまう。
- ・ 新しい店(人)が地域とつながれないと、災害時の情報がかめない。

*影響を受ける人*居場所のなくなる子どもと親

*資源*商工会議所/新店舗/自治会/地域の委員の人/市職員/教育委員会/産業政策課

午前中のワークでは、そもそも対象について「本当に困っているのか？」や「本当に困っていることは何？」など、あらたな議論が巻き起こり、どのチームともこのワークを通しあらためて課題設定に対する難しさにぶつかっている様子でした。

チームで企画づくり

午後は、講師が実際に携わっている認知症の見守り事業や南城市のイベントの事例を参考に、企画書の基本について学びました。企画書のフォーマットをもとに【目的>背景（企画意図）>コスト>現状>要望】という基本の順序と構造があることを理解し、実際にチームでの企画づくりをしました。

【Aチーム】タイトル：未定

サブタイトル：スナック公民館

目的：気兼ねなく人が集まる居場所でSOSの出しやすいコミュニティを形成する

対象：公民館のミニデイサービスに行きづらくなったお年寄りと、ひきこもりの方

> 普天間三区の飲み屋街の方に協力を得て、スナックでYouTube配信をする。ひきこもりの方にもネットで情報をキャッチしてもらい、お年寄りのサポートとして役割を与えて、実際のつながりをもつきっかけにしたい。YouTube配信は大河さんが！

斗星さんより>ひきこもりの方も人としての資源になることは面白い。期待したい。



【Bチーム】タイトル、サブタイトル、目的未定

対象：不登校の小学生

> 不登校の小学生が自己肯定感をもち、生きる力を身につけるために何かしたい。他者との交流やフリースクールの案などはあるが、具体的になっていない。

斗星さんより>まずは当事者の声をつかむこと。子ども本人や親御さんなどの声。第二小学校で該当児童は何名？関わる人はどんな人？これをまずは洗い出すところからはじめるといい。

【Cチーム/でいごストリート】

タイトル：地域をつなぐヒルズ通りのプレゼン合戦！

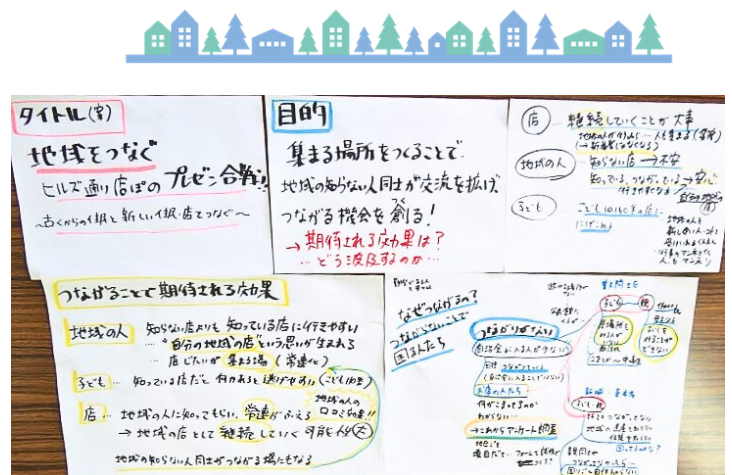
サブタイトル：～古くからの住民と

新しい住民、店をつなぐ～

目的：集まる場所をつくることで地域の知らない人同士が交流を助けつなげる機会を創る！

> 誰が何で困っているのかわからなくて困っている状況がある。子どもと店がつながれたら何かあったときの逃げ場になれて安全にもつながる。

斗星さんより>複合的な企画になっていてタイトルも分かりやすく、もう企画書になりそう。素晴らしい！



今回の講座では、これまでの講座で学んだ知識や実践から、企画提案までのプロセスを行ったり来たりしながら、チームでの企画づくりが本格的にはじまりました。企画をたてる前の段階で重要な問題設定のしかたや、多くの関係者（ステークホルダー）を巻き込んだ企画づくり、また基本の企画書とはどういったものなのか？を学び理解を深めることができました。

受講生アンケートより

- 企画作りとはアイデアではなく整理であるというのが、今回の1番の学びです。
- 多くの人に関わる事で多くのアイデアが生まれることを改めて考えさせられる。
- 目的、背景、企画内容が今回の講座で決まりよかったです！
- タイトル、サブタイトルを決めるのに苦労していましたが、斗星さんのたとえ話、私たちの気持ちを分かった上でのアドバイスありがたかったです。
- 「誰のため」「何のため」を考えるためのデータ収集、アセスメント方法のヒントが得られたので自分たちの企画に活かしたいです。

第6回講座は⇒⇒⇒

内容：中間発表 ～企画のための1アクション～

日時：2023年10月25日（水）19:00～21:30

場所：普天間第二小学校

